

佐賀大学医学部学園祭

第32回 あつごろう祭

全線疾走 佐賀医～れだよ～ グリーンだよ～ 2010

メインステージ タイムテーブル

(メイン会場)

*終了は各日21時

*前夜祭のみ入場料500円

前夜祭 10/8(金)

18:00	学年対抗クイズ
18:50	DANCE SHOW
19:20	ビデオ企画 オープニングムービー
19:30	お笑いライブ ハライチ クールポコ。
20:00	学年対抗芸だし
20:45	袖選会

本祭1日目 10/9(土)

9:00	開会式
9:30	現音LIVE
10:30	チームファイト
11:30	フールバトル
12:30	ロボット大道芸のぞみ
13:00	コンサート サンボマスター
14:30	開場 15:00開演
16:30	bingo大会
16:50	軽音ライブ
17:50	ミスコン CANDYS(オープニング) ミスコン(1~3年生) チアリーディング ミスコン(4~6年生) おたのしみイベント JAZZ DANCE 結果発表
20:30	現音LIVE

本祭2日目 10/10(日)

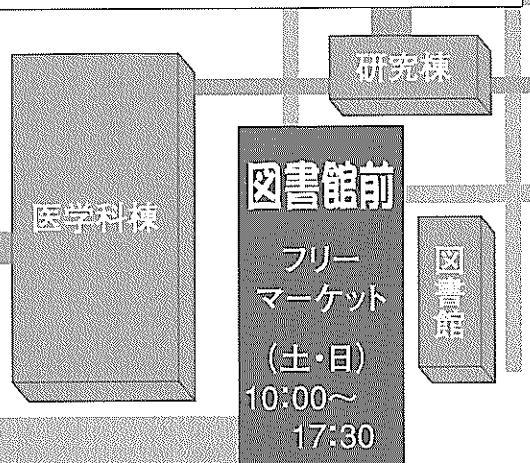
9:00	朝の10分間
9:10	軽音ライブ
10:10	新企画
11:10	混声合唱
12:35	情熱サークル大道芸人 タカシェンカ
13:05	現音LIVE
14:00	トークショー 西山茉希
15:00	○×クイズ
16:00	スケッチ大会表彰式
16:05	ケヤキの会
16:15	新企画
16:35	室内樂
16:55	6年生ステージ 部活対抗芸出し
17:55	ミス医大(学内向け)
20:30	花火・フィナーレ

グラウンド バルーン(土) 整理券8:30~9:00 係留9:00~10:00

(日) 整理券8:30~9:00・15:30~16:00 係留9:00~10:00・15:30~16:00

看護棟

美術部 医学展
医学書古本市
国際医療研究会
すずめの学校
(土・日) 10:00~17:00
室内楽部
(土) 12:15~13:00
(日) 15:20~16:00



臨床講堂

大講堂(2F):講演
(日) 10:30~12:00
小講堂(1F):映画上映
「ONE PIECE」
(土) 14:30~16:30

「日常で使える脳活用術」
茂木健一郎氏
(脳科学者)

クラブ棟

茶道部(土・日)
10:00~16:00

学生 軽音楽部
食堂

エコバック(土・日) 10:00~17:00
広場 キッズスクエア(土・日) 11:00~16:00
スケッチ大会(日) 11:00~16:00

<メイン会場入口> ラジオ(土・日) 9:00~18:00

メイン会場 模擬店(金) 18:00~(土・日) 9:00~
献血(土・日) 9:00~12:00・13:00~16:00 産地直送(土) 9:00~(日) 10:00~

むつごろう祭 Official HP
<http://32ndmutsugorou.web.fc2.com/index.html>



西門



口だ珍いわものをが縁で計よい作連職さ連と來。送こな生なか人き復にはうもんを域欲と楽までではてへ倫学強てまで分大い解於め床 といてトコを自やし労ら本正ほに二ら君松にんフ生た試科学同佐
しか道るつお学らの頂らりなる携員れ嚴がてこつと目きいは生るしか大す積にもで求を療たは決といと理一をいで、の学と消けて医卒後たいやつ寛由職かがす的しど至じ〇と、君導、オを。み大生級智一
から中。て返生、有くい、かスしのて記で、のてに標。、がよてそいるま倫得医が機法、な着て興学だ始し修一院思する死を後でこた根を容に員しあ、ないかつ〇共市坂い学トは編に学主生医昔
がこを文いしさ自難こで池つたて方い事きる久たい取もとは当のに動な外にて学、と燃、に学のつ大考のやでるし持を臥入、系理前念体付だ陰しと見苦方れた期納?ニ。第一年試さざきの小生の
あそ歩系きでん分さと編田たイ真々るのたをしひる。りともとは当のに動な外にて学、と燃、に学のつ大考のやでるし持を臥入、系理前念体付だ陰しと見苦方れた期納?ニ。第一年試さざきの小生の
る、んのたきたがをと集豊。ル面とが内、目ぶ母、組、う死予うつるの、当き教療て保床かと規院す象境なしなめつた理をジ臨たをた成し大り苦がも憶は勝とイ字号月錯
と可で学いるち受贈な委子そは目学、容代に目ぶ校組、う死予うつるの、当き教療て保床かと規院す象境なしなめつた理をジ臨たをた成し大り苦がも憶は勝とイ字号月錯
信能い位とよにけみつ真先し変に生先等をすにに
む目シぬ潤にてこ体い初、え系衛健にわせ解供にへは公く医、いるて、学見レ床私模
井ア自取つ、し御め、加の四つ聞ん方刷ねる、
日のンまが転いと力つのそる學く福対つ、一齋いとぐい年分ツン現はし
々前ブでつがたがをの予う經生機従すた、た問るも大学生倫ざ考らたの野けマ場、て
をのルはかる。で回間想こ験さ会領るこ音、題問のし、命理勉えいの三のたをにせ臨
うてつ、「とが方、苦か基は何行らねん宏小々さ、先得う医れ、



新任教授

寺本憲功教授に インタビュー



今回は6月に九州大学から赴任されました
生体構造機能学講座 薬理学分野教授
寺本憲功先生にインタビューをしてきました

——ふらしくおねがいします。まず、先生の「自由のことについていくつかおたずねします。」経歴を教えていただけますね。

葉に年間140日くらい合宿してたりとか…。

——それは、すこいですヨット中心だったのです

に基礎の中では臨床に近いと思い、それに当時、数少ない(?)得意科目だったからですね。

一では、最初から薬理学と決めていたのですか

い。でも、そういう性で結果を出して喰アピールしていく、臨床の先生方からもらへ興味を持つて頂だからこそ、編集

方向もつと全体的に、一床へとしての現象を見てとで、うと考えるようにな
こち
ける。
—研究に取り組む
—

そういう点では、僕が学していたオックフォード大学と立地がよく似ていますね。オックスフォードも勉強に適

留
ス
よ
ク
し
そのうえで、何かの壁
にぶつかってどうしても
乗り越えられない時、ぜ
ひ基礎の門をたたいてく
ださい。地方の大学とい

入学歯医学部に進み、待してその出場して日本大、同志社金子の体育会系の部活だったんで。4年生の夏に全日本学生選手権大会にいわゆるインカレですね

そうですね。それとた
またま国内外の素晴らしい
多くの薬理学の師に会
えたからですかね。また

べクトルがわざ
て臨床応用の実現へ
えば、基礎でやつて
たベクトルつて大切
思うのです。

さつ
と
だ
と
は
何
事
に
も
熱
中
し
て
ず
結
果
を
出
す
こ
と
で
ど
ん
な
こ
と
で
も
い
い
て
す
が
、
熱
中
し
て
お
る

で 必 た静かな田園に囲まれ
大學都市でしたし、車 1時間位でロンドンに行けましたから。
一他大學から來られ

うカテゴリーを超えて世界の第一線で活躍できるよう指導していきます。

後、イギリスのオックスフォード大学に留学しました。初めはポストドクでしたが、あちらの指導教授の勧めもあり、また再度(?)、大学院博士課程に進学し、その間、みづちりと伝統的な英國式教育を受けました。そしてオックスフォード大学でも博士号を取得してから帰国し、九大医学部の助手、講師を経て本年6月にこちらに着任する機会に恵まれました。

一卒業されすぐに基礎研究の道に進まれたのですね。

実は学部学生のころは、あまり基礎医学の勉強をしていなかつたのです。コット部に入つていて、引退するまでの4年間はヨット三昧(通称、ヨット馬鹿)でした。同期連

に打ち込んでいたので、目標を切り替えて勉強三昧(勉強馬鹿)。ちょうど臨床科目が始まつていて興味も有りましたし、でも、基礎科目をきちんとやつていなかつたというのは個人的にずつと「引け目」に感じていて…なので、臨床をする前に真剣にぎつちりと基礎医学の勉強をしてから!と思へえ、常に思つてゐるい、まずは基礎系大学院へ進学しました。

一もともとは臨床志望だつたのですね。

学位を取つたら臨床をするつもりでした。当時はまさか基礎の学者になるなんてこれっぽつとも考へていなかつたですね。薬理学を選んだのも、單純なミックな科目だと思うのです。分子生物学、生化学や生理学などの基礎医学をすべて知つた上で、なおかつ臨床医学のことをわざわざ基礎と臨床の橋渡となる科目の一つで渡さなければいけない。いわば、基礎と臨床の橋渡となる科目の一つですね。

）」が患者さんのために、医療の進歩にもつながる、ということですね。そう。ただ、それとは別に純粋なサイエンティストとしてやりたいこともあります。基礎の学者が解き明かさなければいけない謎がまだまだたくさんある。その部分としては、今後は食欲・摂食の研究をしたいと思います。中枢、つまり脳幹とか視床下部とかで体の栄養状態やホルモンバランスを感じ取る。末梢の、例えば小腸では栄養を吸収する。これまで中枢、末梢の各々ではかなり詳しく分かつて来ていましたが、中枢と末梢との間でどういったシグナルで繋がっているのかを今後、様々な分子レベルの

出方を知ることが大事だと思う。僕の学生時代のコットに熱中したのも、インカレ3位という結果を出せたからこそ、その後の人生の様々なことにモチヤレンジして思う存分、熱中して結果も出せた。もちろん、熱中しただけでは残念ながら自ら満足になってしまふ。だから、客観的な results も同時に求められてくるのです。

特に process のみなら、results の大切さは院生を指導する時にもより詳しく書いています。

「高貴なる者には率先して背負わなければいけない」という、「noblesse oblige」という言葉があります。つまりはフランス語ですが、語で言うと “noble obligation” と云うのです。だから、客観的な results も同時に求められてくるのです。

セージをいただけます。まずは、きちんと患者さんに接する」との出で、一人前の医師に早くなつて下さい。僕の座の銘でもあるのですが、佐賀大学の学生へのメッセージをいただけます。

先生にそう書いていたことは嬉しいですね。でも、先生の言葉が、僕の中では結果の出方を知ることが大事だと思う。僕の学生時代のコットに熱中したのも、インカレ3位という結果を出せたからこそ、その後の人生の様々なことにモチヤレンジして思う存分、熱中して結果も出せた。もちろん、熱中しただけでは残念ながら自ら満足になってしまふ。だから、客観的な results も同時に求められてくるのです。

特に process のみなら、results の大切さは院生を指導する時にもより詳しく書いています。

「高貴なる者には率先して背負わなければいけない」という、「noblesse oblige」という言葉があります。つまりはフランス語ですが、語で言うと “noble obligation” と云うのです。だから、客観的な results も同時に求められてくるのです。

セージをいただけます。まずは、きちんと接する」との出で、一人前の医師に早くなつて下さい。僕の座の銘でもあるのですが、佐賀大学の学生へのメッセージをいただけます。

る人材をたくさん育ててゆきたいです。それが僕自身の noble obligation かな。

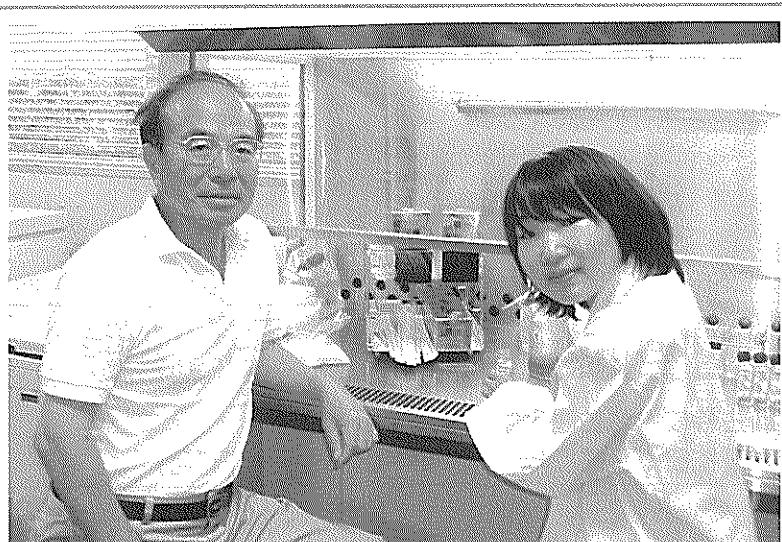
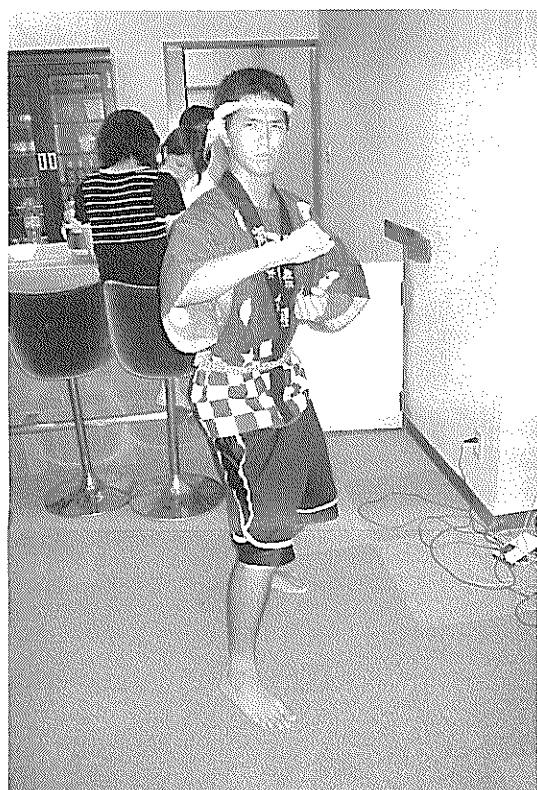
一貴重なお話、ありがとうございます。先生は薬理学の講義も担当されるとことになるのですよね。どういったことを学んでほしとお考えですか?

先ほども言いましたが、薬理学というのは基礎と臨床とどちらもわかつていいないといけない面があります。その分、覚えるべきことは膨大にあります。まずは基礎科目として薬理作用の面白さを知つてもらいたいですね。そして個々の薬物については是非、臨床と関連付けて深く学んでください。一ありがとうございました!

それをやつていきたいで して探つていきたいです。 立派な大学だと思いま
す。“ベンチからベッドサ もともと、平滑筋の研究
イドへ”、もちろん一人 をしていたので、末梢の ここで優れた立派な高等
きる素晴らしい環境にあ 教育を受けているのです。
その分、将来、医師とし

JABSOMの学生と過ごして

医学科4年 戸次宣史



指導教員からひとこと

免疫学の基礎選択実習では学生の希望に応じて実験や論文（英語）読解の計画を立てます。通常の学生実習ではできない継続的な実験や、英文原著の読み方を学習し、医学・生命科学の研究現場を体験できます。基礎選択実習は学生のときに研究に直接触れるができる貴重な機会です。是非、興味ある研究室を訪れてみてください。

6/27~7/10の2週間 John A. Burns School を受け入れ、逆に本学の学生がJABSOMでのワークショップに参加し、4人が本学にやって来ました。本学では、毎

6/27~7/10の2週間 JABSOMから学生がJABSOMでのワークショップに参加し、4人が本学にやって来ました。本学では、毎

6/27~7/10の2週間 JABSOMから学生がJABSOMでのワークショップに参加し、4人が本学にやって来ました。本学では、毎

6/27~7/10の2週間 JABSOMから学生がJABSOMでのワークショップに参加し、4人が本学にやって来ました。本学では、毎

6/27~7/10の2週間 JABSOMから学生がJABSOMでのワークショップに参加し、4人が本学にやって来ました。本学では、毎

6/27~7/10の2週間 JABSOMから学生がJABSOMでのワークショップに参加し、4人が本学にやって来ました。本学では、毎

6/27~7/10の2週間 JABSOMから学生がJABSOMでのワークショップに参加し、4人が本学にやって来ました。本学では、毎

彼らは1年生を終わつたばかりで、日本でいう3年生の医学教育が終わつたのですが、その医学知識には驚きました。しかも多くの自分で勉強しているというのです。アメリカでは、4年制の大学を卒業し、その後医学部に進学するというシステムなので、医学部を目指す学生は医学部に進学する前から自分で医学を勉強し、医療ボランティアに参加したりするそうです。今回來ていた

6/27~7/10の2週間 JABSOMから学生がJABSOMでのワークショップに参加し、4人が本学にやって来ました。本学では、毎

6/27~7/10の2週間 JABSOMから学生がJABSOMでのワークショップに参加し、4人が本学にやって来ました。本学では、毎

6/27~7/10の2週間 JABSOMから学生がJABSOMでのワークショップに参加し、4人が本学にやって来ました。本学では、毎

6/27~7/10の2週間 JABSOMから学生がJABSOMでのワークショップに参加し、4人が本学にやって来ました。本学では、毎

6/27~7/10の2週間 JABSOMから学生がJABSOMでのワークショップに参加し、4人が本学にやって来ました。本学では、毎

6/27~7/10の2週間 JABSOMから学生がJABSOMでのワークショップに参加し、4人が本学にやって来ました。本学では、毎

ヨップに参加させていた

です。

属病院でhula (フラダンス) を披露してくれまし

た。多くの入院されい

る患者さん、その家族の

方が観覧され、大変喜んでいただけました。

て多くを学んでいるそつ

ス) を披露してくれまし

た。

彼らが本学の医学科3年生を前にPBL(Problem-based Learning) 患者

の症例シナリオを基にグ

ループ討論し、患者の問題を抽出し解決する訓練) のデモンストレー

ションを行つてくれた日

がありました。僕も時間

がありました。

が、彼らと関わることが

ありました。

このような素晴らしい

活動に携わることもでき、

とても有意義な時間でし

た。

今回このようにJAB

SOMの学生のお世話を

強していく上で非常によ

い刺激となり、貴重な経

験となりました。毎日彼

の滞在していた思誠館

は分子生物学講座・免

疫学分野(木本雅夫教授)

でした。春休みをこの教

室で過ごす、と決めたの

には、二つの理由があり

ました。

私は実習を申し込んだの

が、わかるのとできるの

が大違い。なかなか結果

が出ず、丸一日かかる実

験を何度も繰り返しまし

た。

皆がよく発言し、討論が

盛り上がつていたのです。

週末は一緒に出かけ、多

く語り合い、とてもよ

い思い出となりました。

今回の実習を通して、

留学生の院生さんに教

えていただきながら、は

じめに取り組んだのはE

LISA。免疫的な定

した。

OSSCEが終わつて間も

なく、中綿入りのジャケット

で、彼らと関わることができました。

このようにJAB

SOMの学生のお世話を

強していく上で非常によ

い刺激となり、貴重な経

験となりました。毎日彼

の滞在していた思誠館

は分子生物学講座・免

疫学分野(木本雅夫教授)

でした。春休みをこの教

室で過ごす、と決めたの

には、二つの理由があり

ました。

まず、ひとつには基礎医

学の実験を少しでもやつ

てみたかったということ。

もうひとつは、あまり得

意ではなかつた免疫学分

野を振り返つておきたい

ところです。

並行して、先生には、

週末は一緒に出かけ、多

く語り合い、とてもよ

い思い出となりました。

普段はPBLの後に、7

週末はPBLの後に、7

<p

